

第5次レッドデータブック：
絶滅のおそれのある日本の野生生物

The 5th Red Databook, Threatened wildlife of Japan

クマガイソウ

Cypripedium japonicum var. *japonicum*

日本植物分類学会

絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会 維管束植物分科会



令和7（2025）年3月



この文献はクリエイティブ・コモンズ 表示-非営利-改変禁止 4.0 国際ライセンスの下に提供されています。

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/deed.ja>

種毎の解説を引用する場合には以下のように記述してください。

引用表示：日本植物分類学会. 2025. クマガイソウ. 環境省（編） 第5次レッドデータブック：絶滅のおそれのある日本の野生生物.

Citation: Japanese Society for Plant Systematics. 2025. *Cypripedium japonicum* var. *japonicum* Ministry of the Environment, Japan (ed.), *The 5th Red Databook: Threatened wildlife of Japan*.

クマガイソウ

Cypripedium japonicum var. *japonicum*

カテゴリー判定結果 絶滅危惧Ⅱ類 (VU) 基準 D

推定開花株数が 1000 個体未満。

評価分科会： 維管束植物分科会

基礎情報

【形態】

茎は高さ 20-40 cm、有毛。葉は扇円形で径 10-20 cm、放射状に多数の脈があり、多くの縦じわが顕著。花は茎頂に 1 個横向きを開き、大型で径 10 cm、萼片と側花弁は淡黄緑色で唇弁は袋状で紅紫色の脈が目立つ。背萼片は卵状楕円形、長さ 4-5 cm、幅 1-2 cm。側萼片は合着し、広卵状舟形で背萼片より幅広く、先端が少し 2 裂する。側花弁は卵状披針形で内面に斑点と軟毛がある。茨城県には葉が無毛の集団があり、ヒタチクマガイソウ var. *glabrum* と呼ばれる。また、唇弁に紅紫色の現われないものがあり、これはキバナクマガイソウ f. *urasawae* と名づけられている。

【生活史】

地生の多年草。花期は 4-6 月。

【生育環境】

暖温帯～冷温帯の樹林下に生育し、落葉広葉樹林、常緑広葉樹林のほか、特にスギ植林、竹林の林床に群生する。

【分布域】

北海道（西南部）・本州・四国・九州、朝鮮半島・中国東部。

現在の生育状況

【生育地の現況】

2018 年調査では 4 メッシュで絶滅し、70 メッシュで計数万個体の現存が推定されたが、個体数を過小に推定していると考えられる。基準 D により VU とした。

現地調査の集計結果 2018 年調査

【「現存する株数」別のメッシュ数】

<10	<50	<100	<1000	<10000	>10000	合計	絶滅	その他
23	30	8	5	4	0	70	4	17

【存続を脅かす要因上位3項目の件数】

1番目	2番目	3番目
要因 園芸採取	自然遷移	シカ食害
件数 37	18	9

特記事項

特になし

旧レッドリストカテゴリーと掲載名

第4次 2020:	クマガイソウ	<i>Cypripedium japonicum</i>	VU
第4次 2019:	クマガイソウ	<i>Cypripedium japonicum</i>	VU
第4次 2018:	クマガイソウ	<i>Cypripedium japonicum</i>	VU
第4次 2017:	クマガイソウ	<i>Cypripedium japonicum</i>	VU
第4次 2015:	クマガイソウ	<i>Cypripedium japonicum</i>	VU
第4次:	クマガイソウ	<i>Cypripedium japonicum</i>	VU
第3次:	クマガイソウ	<i>Cypripedium japonicum</i>	VU
第2次:	クマガイソウ	<i>Cypripedium japonicum</i>	VU
第1次:	—	—	—

都道府県レッドリスト・レッドデータブック掲載状況（令和4年度末時点）

北海道[絶滅危惧種(En)] 青森県[重要希少野生生物(B ランク)] 岩手県[A ランク] 宮城県[絶滅危惧 I 類(CR+EN)] 秋田県[絶滅危惧種 I B 類(EN)] 山形県[絶滅危惧 I B 類 (EN)] 福島県[絶滅危惧 I B 類(EN)] 茨城県[絶滅危惧 I A 類] 栃木県[絶滅危惧 I 類(A ランク)] 群馬県[絶滅危惧 I A 類(CR)] 埼玉県[絶滅危惧 I A 類(CR)] 千葉県[重要保護生物(B)] 東京都(本土部)[区部：絶滅(EX) 本土部：絶滅危惧 I A 類(CR)] 東京都(北多摩)[絶滅危惧 I A 類(CR)] 東京都(南多摩)[絶滅危惧 I A 類(CR)] 東京都(西多摩)[絶滅危惧 I A 類(CR)] 東京都(伊豆諸島)[絶滅危惧 II 類(VU)] 神奈川県[絶滅危惧 II 類(VU)] 新潟県[絶滅危惧 I 類(EN)] 富山県[絶滅危惧 II 類] 石川県[絶滅危惧 I 類(EN)] 福井県[県域絶滅危惧 I 類] 山梨県[絶滅危惧 I B 類(EN)] 長野県[絶滅危惧 IA 類(CR)] 岐阜県[絶滅危惧 I 類] 静岡県[絶滅危惧 II 類(VU)] 愛知県[絶滅危惧 II 類(VU)] 三重県[絶滅危惧 II 類(VU)] 滋賀県[絶滅危惧種] 京都府[絶滅寸前種] 大阪府[CR+EN] 兵庫県[B ランク] 奈良県[絶滅寸前種] 和歌山県[絶滅危惧 I B 類(EN)] 鳥取県[絶滅危惧 I 類(CR+EN)] 島根県[絶滅危惧 I 類(CR+EN)] 岡山県[絶滅危惧 I 類] 広島県[絶滅危惧 I 類(CR+EN)] 山口県[絶滅危惧 I A 類(CR)] 徳島県[絶滅危惧 II 類] 香川県[絶滅危惧 I 類(CR+EN)] 愛媛県[絶滅危惧 II 類(VU)] 高知県[絶滅危惧 II 類(VU)] 福岡県[絶滅危惧 I A 類] 長崎県[絶滅(EX)] 熊本県[絶滅危惧 I A 類(CR)] 大分県[絶滅危惧 I A 類(CR)] 宮崎県[絶滅危惧 I B 類(EN-g)] 鹿児島県[絶滅危惧 II 類]

保護に係る法令指定状況（令和4年度末時点）

指定なし

参考文献

- 大橋広好・門田祐一・邑田仁・米倉浩司・木原浩（編），2015. 改訂新版日本の野生植物 1. 391pp., 272pls. 平凡社，東京.
- 静岡県暮らし・環境部環境局自然保護課，2020. まもりたい静岡県の野生生物 2020—静岡県レッドデータブック 植物・菌類編—. 静岡県暮らし・環境部環境局自然保護課，501pp.
- 長野県自然保護研究所・長野県生活環境部環境自然保護課（編），2002. 長野県版レッドデータブック 長野県の絶滅のおそれのある野生生物. 維管束植物編. 長野県自然保護研究所，297pp.

アセスメントサマリー（Assessment summary）

Cypripedium japonicum var. *japonicum* has been assessed for threatened wildlife of Japan Red List 5th edition. *Cypripedium japonicum* var. *japonicum* is listed as VU under criteria D.

D. Population size estimated to number fewer than 1,000 mature individuals.

Threat types:	Collecting plants in gardening, Natural succession, Deer feeding damage
Law designation status for conservation	—

執筆者: 日本植物分類学会
Author: Japanese Society for Plant Systematics

公表年月：2025年3月